

事前確認の内容

注意事項	1
作業 1 : ZOOM 会議への接続テスト.....	2
作業 2 : [Azure ポータル]、[Azure Cloud Shell] への接続テスト.....	2
作業 3 : Azure Lab Services (オンライン ラボ環境) へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト.....	4

注意事項

- この手順は、**必ず** トレーニング コース **受講当日** に使用する **PC および 場所 (ネットワーク)** で行ってください。
 - 接続確認できないことによるキャンセルをご希望の方は、承ります。
 - 画面や操作手順は、予告なく変更となる場合があります。
 - RDP 接続テストで使用する Windows 仮想マシンは、AM1:00-5:00 までメンテナンスのため接続することはできません。
- 演習用の PC は、Windows 10 以降をご使用ください。
- ハンズオン演習で使用する PC とは別に、**2 つ目のデバイス** をご用意いただくことを強く推奨いたします。
 - 2 台目のモニター、2 台目の PC、タブレット端末など。
 - これは、講師の画面を表示しながら、演習を行ったり、デジタル テキストを表示したりするためです。
 - なお、Zoom 用と演習用で別々の PC を使用される場合、演習環境からも Zoom チャット操作を行っていただく場合があるため、研修で使用されるすべての PC から Zoom への接続テストを行うことを推奨します。
- 演習用 Web ブラウザーは、Microsoft Edge または Google Chrome をご用意ください

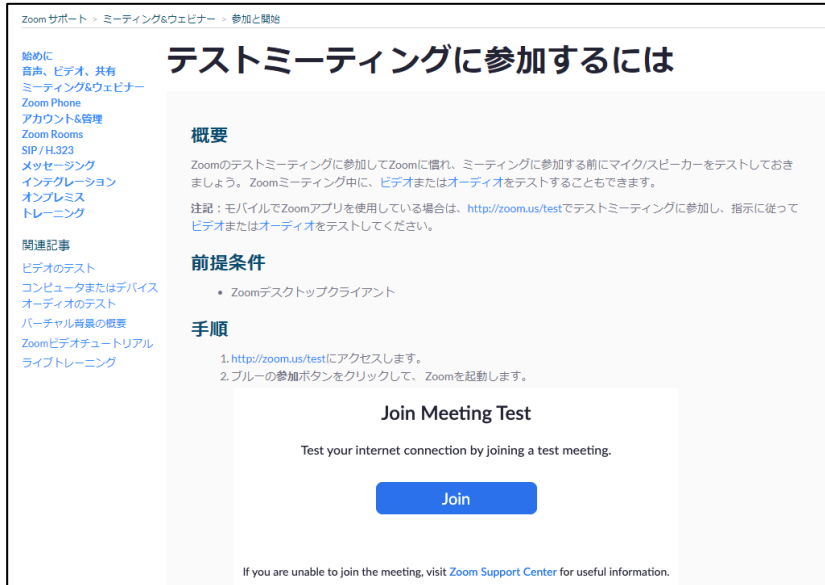
作業 1 : ZOOM 会議への接続テスト

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
2. 「Zoom の テスト サイト」にアクセスします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/>

⇒ Zoom ミーティングに参加するテストの「手順」が表示されます。

3. 指示に従ってテストを行います。



作業 2 : [Azure ポータル] 、 [Azure Cloud Shell] への接続テスト

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します (Google Chrome または Microsoft Edge をおすすめします) 。

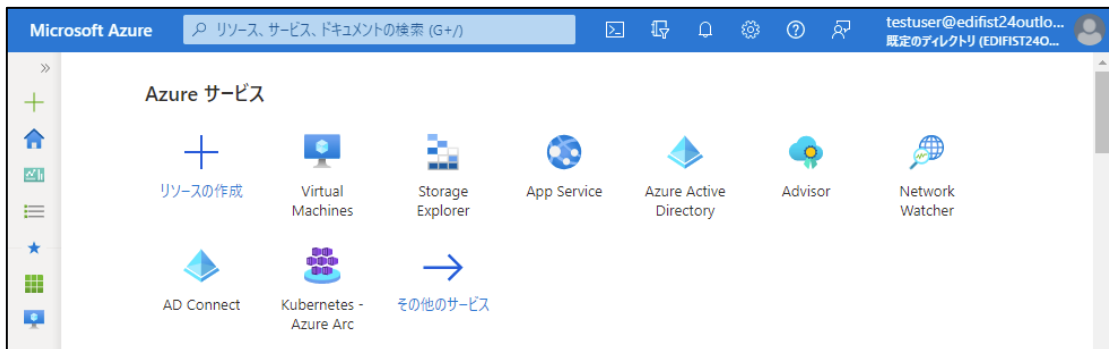
2. [Azure ポータル] にアクセスします。

<https://portal.azure.com>

3. サインイン画面で、次のテスト用アカウントでサインインします。

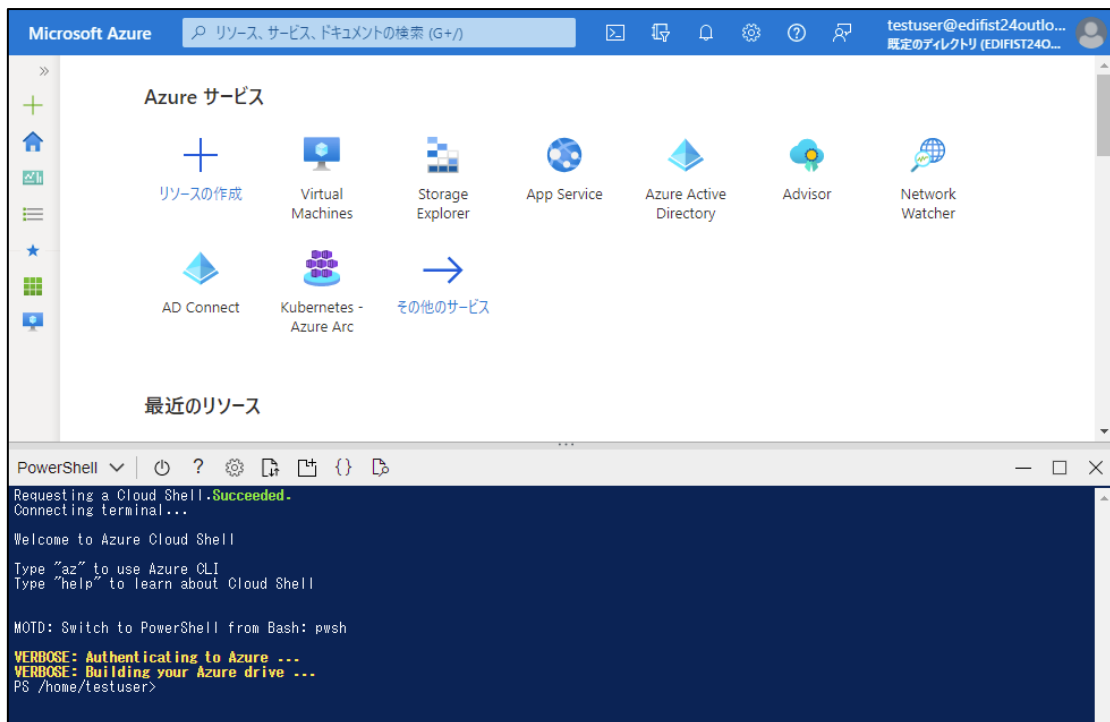
- ユーザー名 : **testuser@edifist24outlook.onmicrosoft.com**
- パスワード : **Online12345**

4. [サインインの状態を維持しますか?] と表示されたら、[はい] をクリックします。
5. [Azure ポータル] が表示されます。



⇒ [Azure ポータル] へのサインインが成功しました !

6. [Azure ポータル] 画面上部の [Cloud Shell] アイコンをクリックします。
7. 画面下部に [Cloud Shell] 領域が表示されます。



⇒ [Azure Cloud Shell] への接続が成功しました !

8. [Azure ポータル] からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます。

作業 3 : Azure Lab Services (オンライン ラボ環境) へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します (Google Chrome または Microsoft Edge をおすすめします) 。
2. [Azure Lab Services] にアクセスします。
<https://labs.azure.com>
3. 画面右上の [サインイン] をクリックします。
4. 次のテスト用アカウントでサインインします。
 - ユーザー名 : **labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com**
 - パスワード : **Pa\$\$w0rd1234%**



5. Azure Lab Services の画面が開き、[自分の仮想マシン] が表示されます。
⇒ [Azure Lab Services] へのサインインが成功しました！
6. スイッチ ボタンが [実行中] になっている場合は、手順 7 を行います。

スイッチ ボタンが [実行中] になっていない場合は、[停止] スイッチ ボタンをクリックして、Lab 仮想マシンを起動します。



⇒ スイッチ ボタンの表示が、「停止」、「開始しています」、「実行中」と変わります
(この処理には、少し時間がかかります)。

7. スイッチ ボタン [実行中] の右隣にある PC アイコンをクリックします
(PC アイコンにカーソルを合わせると、[仮想マシンに接続する] と表示されます)。



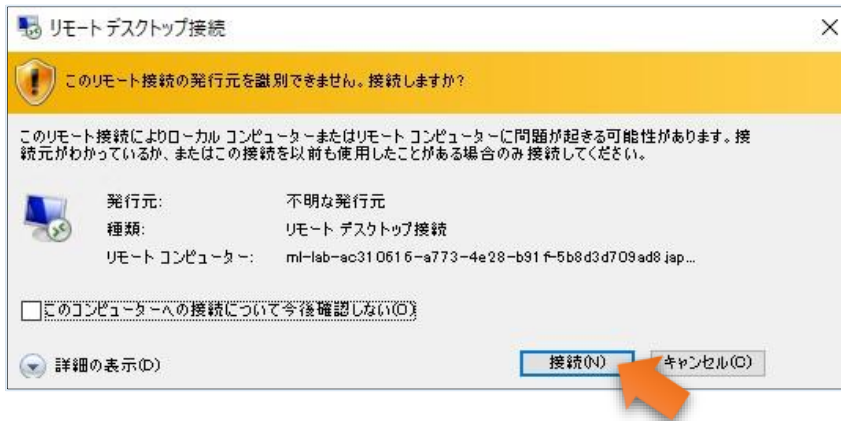
⇒ 「RDP-Connection-Test.rdp」という名前のファイルがダウンロードされます。

8. ダウンロードされた RDP ファイルをクリックします。



⇒ [リモート デスクトップ接続] の [このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか?] と表示されます。

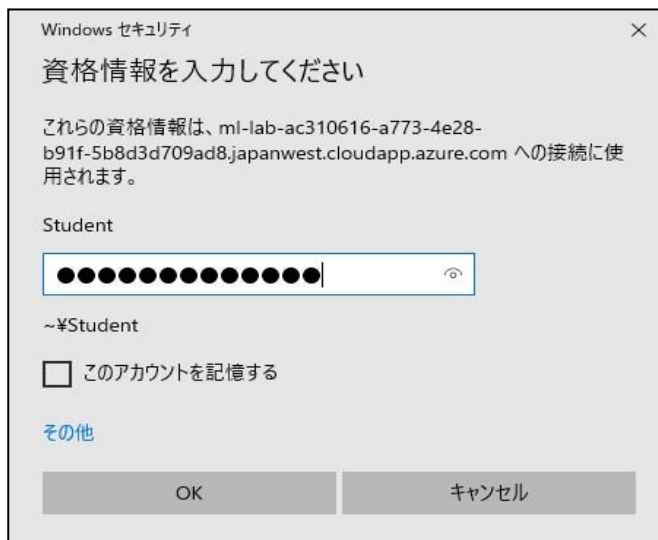
9. [接続] をクリックします。



⇒ [資格情報を入力してください] が表示されます。

10. 以下のテスト用アカウントでサインインします。

- ・ ユーザー名 : **student**
- ・ パスワード : **Pa55w.rd2005!**



⇒ [このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?] が表示されます。

11. [はい] をクリックします。



12. リモート デスクトップ接続の画面が表示されます。

⇒ Lab 仮想マシンへの RDP 接続のテストが成功しました！

13. 画面上部の [×] をクリックし、リモート デスクトップ接続ウィンドウを閉じます。

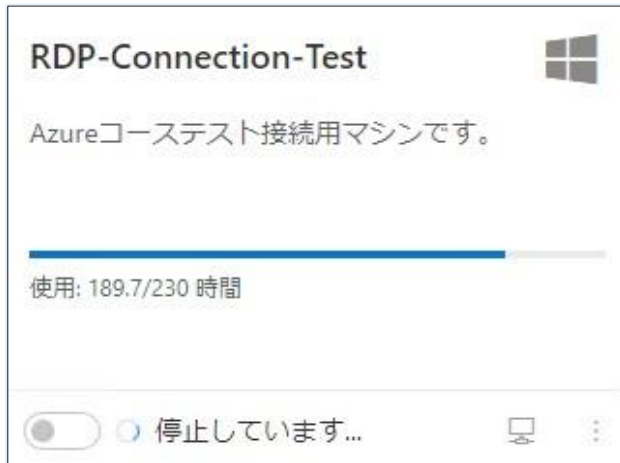
14. 「リモート セッションは切断されます」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

ここで、Azure Lab Services の画面に戻ります。

15. Azure Lab Services の [自分の仮想マシン] の [実行中] ボタンをクリックし、ステータスを [停止] に変更します（この処理には、少し時間がかかります）。



16. 仮想マシンが [停止しています...] という状態になったことを確認します。



17. Azure Lab Services からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます。

“事前確認事項” は、以上です。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。
